



# ASDとジェンダー 摂食障害の視点 社会的カモフラージュ

---

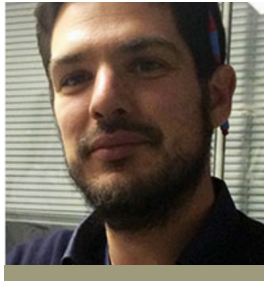
一般枠の  
申込フォーム

学生枠の専用申込フォーム  
学生証のアップロードが必須



思春期・おとなの自閉スペクトラム症—認知行動療法研修会—  
主催：千葉大学子ども心の発達教育研究センター  
後援：日本認知・行動療法学会

# | 講師紹介



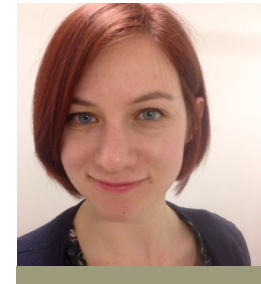
**William Mandy**

臨床心理学 教授  
ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL)  
臨床・教育・健康心理学研究部門

## 研究テーマ

- ・ 自閉症スペクトラム障害 (ASD) の概念化
- ・ ASDの各行動側面には異なる基礎的な障害の可能性
- ・ 実行機能の各側面と、ASDの同一性へのこだわりとの関係
- ・ 女性の自閉症の表現型と男性のそれとの違い
- ・ 閾値以下の社会的コミュニケーション障害の結果
- ・ 非臨床集団における社会的認知の発達
- ・ 摂食障害者を含む非自閉症集団における自閉症特性

2021.7.2  
ASDの性差とジェンダー  
—摂食障害の視点から—  
William Mandy  
18:00-20:30  
一般¥7,000  
学生¥5,000



**Laura Hull**

臨床心理学・発達心理学 ポスドク研究者  
ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL)  
臨床・教育・健康心理学研究部門

## 研究テーマ

- ・ 自閉症の男女差と社会的カモフラージュ行動
- ・ 高機能のASD者の社会的カモフラージュ行動尺度  
(Camouflaging Autistic Traits Questionnaire ; CAT-Q) の作成
- ・ 自閉症の少年少女と定型発達者の共感性に関するプロジェクト
- ・ 社会的カモフラージュ行動とは、高機能ASD者が日常の社会的状況でASDとしての自分らしいふるまいを隠蔽し、定型発達者のようにふるまう行動を指しており、不安やうつに負の影響

2021.9.24  
成人期ASD者の  
社会的カモフラージュ行動  
Laura Hull  
18:00-20:30  
一般¥7,000  
学生¥5,000